

★ スペイン巡礼の旅 (サンティアゴコンポステーラへの旅)

石田 正幸

妻が亡くなって、時は瞬間に一年過ぎ去りました。四国巡礼の旅でもして新たな人生が見つかるかと思った時以前訪れたスペインのサンティアゴコンポステーラも確か巡礼のはず。  
 妻は一度キリスト教と考えた時がここであったと思い出した。信者でないが今の巡礼は信者だけでないと聞いたので、本屋をあちこちあさり、何冊か購入した。本当の巡礼は聖ヤコブの遺骸に触れるという旅と書いてある。  
 でも、最近は何に自分自身のため、家族のためも多いが、好奇心と体験、自分を試す旅の位置付けのようだ。  
 さっそく一周忌の後級友に話して同行して話す。旅はしない友であるが、なぜか行こうと言ってくれた。  
 9月台風が近づいた田舎でまず15キロを徒歩で練習開始、4時間かけてなんとか歩くが、今まで5キロ以上歩いたことがない私はやっとこ歩けたがこの3倍と考えるとまずい。早とちりしてしまったと後悔する。  
 でも友との約束と旅行会社との約束は反故にはできないし、やむなく仕度して神楽坂で練習したが、今度は直前の19日新しい靴で階段の最上段からひっかけて空中遊泳で落ちる。  
 結果左手の骨折と右手、左足の打撲と旅どころではなくなる。でも、巡礼は苦難を乗り越えて価値があると勝手に解釈して、病院の先生には足がこけたら現地病院あるし、添乗員もいるし、それも人生と考えたらいい体験ではないか、足がダメであればバスで拾ってくれるはず(でも実際は自力でその日の中間地まで歩かないといけないことが後でわかる)  
 と言ってギブスも取り外しの可能なものをお願いした。10月2日スペインの田舎の空港に着く。観光後5日で100キロ歩く。その日から話と違い、まあ、勝手に自分が思っていただけのようだ。 第2号へつづく

第1回イベント開催 12月7日 『箱根紅葉狩り散策』

12月7日 天気恵まれ「虹の仲間同志」で初冬の箱根を散策しました。美味しい鯛ご飯懐石を食べ、澄んだ青空の箱根路巡りは和やかな心癒されるひと時でした。  
 ご参加頂きました皆様お疲れ様でした。



●箱根紅葉狩りに参加した方々の感想です

紅葉の終わった箱根美術館の庭は 人も少なく 静かでも 風情がありました。人混みの中の紅葉の華やかさとは 違う、葉を落とした樹々の 日差しを透る 初冬の明るい庭は 落ち着いて とても素敵でした。私には いつまでも 忘れられない初冬の庭に なりそうです。K・M

当日は気候も良く食事もおいしく皆さんとの会話も楽しく充実した一日を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。K・Y

虹の架け橋初めてのイベントの函嶺洞門や早川の清流を横目に食事処”環塔”は大変美味しくいただきました。12月だというのに暖かく登山鉄道からの風景も素晴らしく、都会の雑踏から離れてまた参加したいと思いました。T・T

綺麗に色付いた山々を眺めながら、美味しい鯛めしを頂き、同じ辛い体験をした方達と語り合い、改めて、この繋がりをずっと大切にしていきたいなと思いました。M・S

今回は2人のMさんが案内役を務めてくれました。急行、登山列車、ケーブルカーと乗り継いで思わぬケーブルカーの山手線並みのラッシュも体験しました。15時で解散予定でしたが「次どうする?」と言った調子でケーブルカーの乗車券を使い切り、買い物夕食、と19時まで一行の旅は続きました。土産物店では夕食の前菜のように試食のカマボコを食べつくしたのはIさんです。19時半に名残は尽きませんが、小田原駅でロマンスカー、新幹線、急行とそれぞれに別れました。紅葉、箱根の山、美術館の庭園、それぞれとても素晴らしかったです。「きれいね」「空気が美味しいね」と言うのと応えがたくさん返ってくるところが何とも言えず温かい旅でした。T・S

X'Max から年末は家族で過ごす時間が多くなります。特に家族で迎えるお正月は伴侶を喪った私達にとってはなお一層寂しさが募る時期です。新しい年の初めに仲間と楽しく過ごしましょう 皆さんのご参加をお待ちしています!

■1月の予定

談話室 日時 1月18日(土) 15:00~17:00  
 場所 ルノール飯田橋西口店  
 会費 1,000円



新年会を同時開催 新年会のみ参加OK

新年会 日時 1月18日(土) 18:00~20:00  
 場所 飯田橋付近  
 会費 3,000円(ドリンク別)

談話室参加の方は、談話室終了後に一緒に移動します  
 ※新年会のみ参加の方はメールでご予約下さい  
 詳細は後日各人にメール配信致しますのでご覧になって下さい。

■2月の予定

談話室 日時 2月15日(土) 15:00~17:00  
 場所 ルノール飯田橋西口店

編集後記

運営委員並びにスタッフの方々の協力を得まして、第1号を発行することが出来ました事を心から感謝申し上げます。読みづらい箇所がありましたらお許し下さい。かけがえのない伴侶を喪った苦しみからどのように立ち上がったらいのか同じ体験をした者同士が語り合い励まし合い、時には散策に出かけたりして親睦を深め合える仲間がいることはとても心強く貴重な存在だと感じています。(伊藤)